

裸の王様

大田知事の正体



裸の王様 大田知事の正体

もくじ

大田チジとは何者か?	1
ウソの訪米報告	2
票のための公約	4
混乱の新石垣空港 立法院棟(旧議会棟)問題	6
スッポカした国際交流	8
松山の土地問題	10
大田チジは沖縄のハジ	12
大田チジをめぐるあきれた話はまだまだ続く	14
未来はぼくらの手に	16

大田知事とは何者か？

ひとりの人間を知ることは世界を知るより困難だ。これが半世紀生きてきたぼくの感想だ。

同時にひとりの人間を知ることは世界を知るより大切だ。

これもぼくの実感だ。ぼくは体験を通して大田知事の正体を知った。

歴史の眞実、すなわち人間の眞実を発見し、

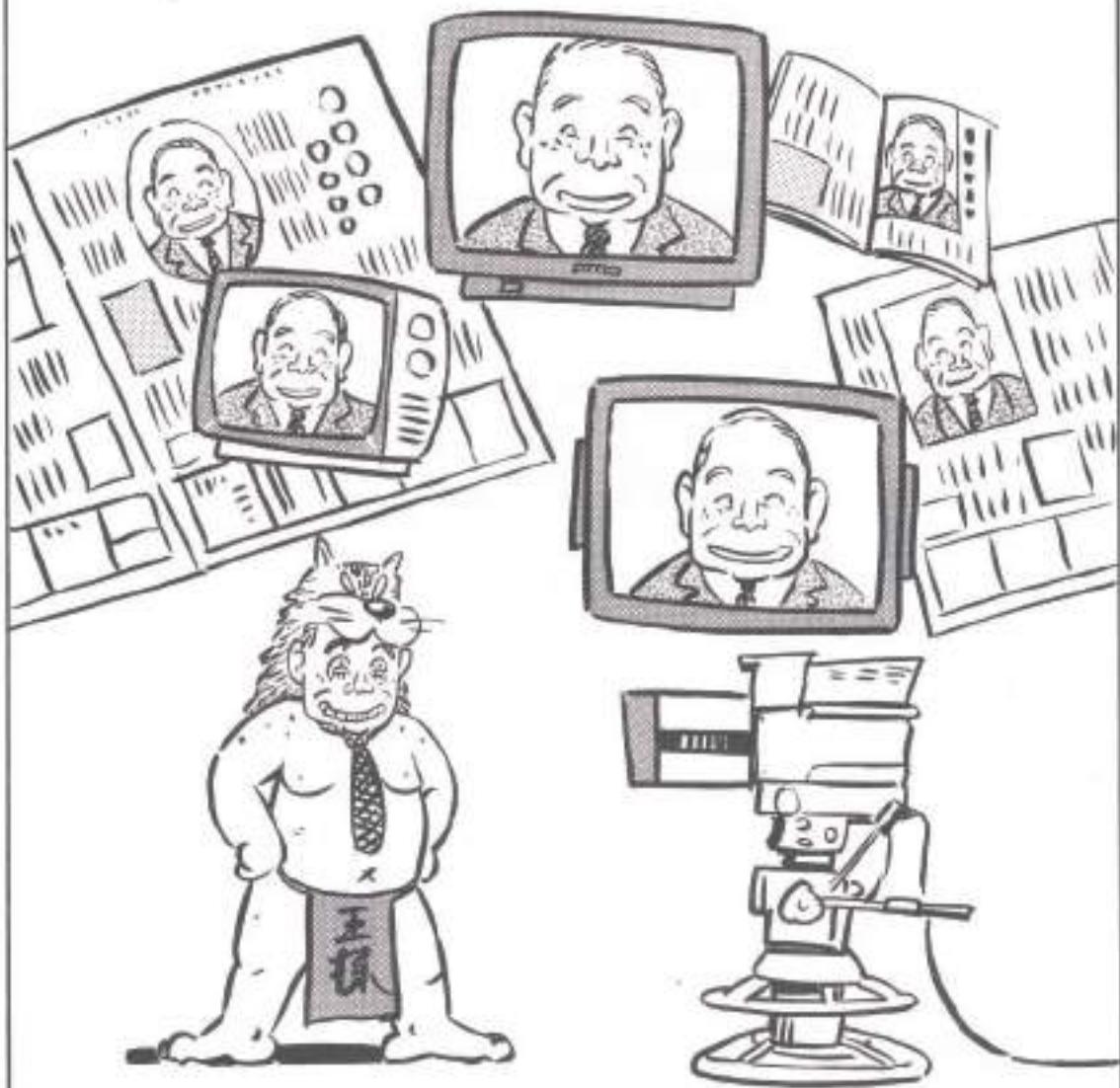
知らせることが僕の仕事だ。

今、漫画という最も単純

明快な表現手段で皆さんに、大田昌秀というひとりの人間の正体を伝えよう。

大田知事とは一体、何者か？

——上原正裕——



ウソの訪米報告

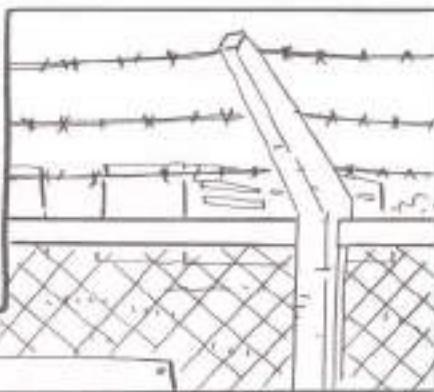
今年の六月九日から二十日にかけて大田チシはアメリカを訪れた

ゴーメオオオオ

助さん格さんの
お供を従えて



目的はもちろん
小さな我が県に
ある広大な
米軍基地の整理
縮小をはじめ
基地問題を訴える
ためだ



約十日間の
日程を経え
意気場々の
帰任会見

出発前には
壮行会や激励会を
大々的に開いて
たんまりあカネも
集めて……



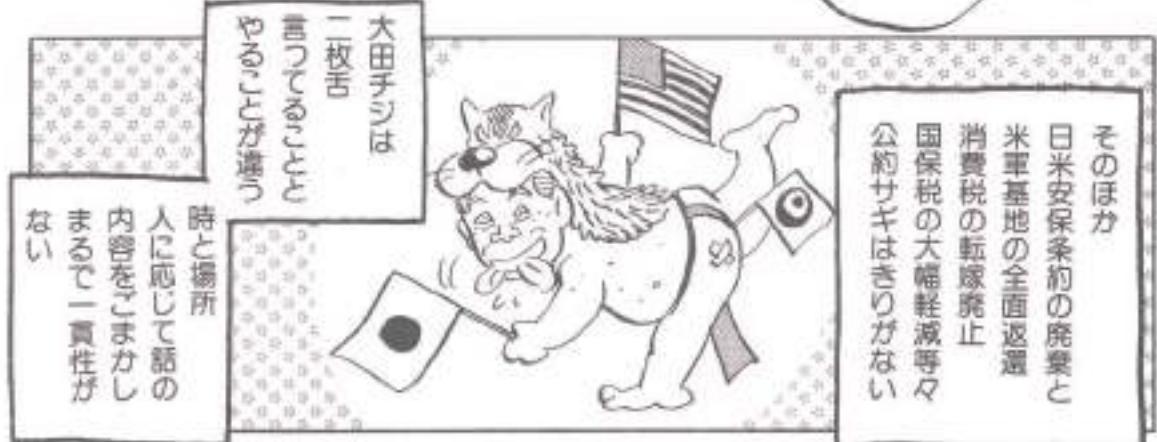
まるで
決起大会
ですナ



西のための公約

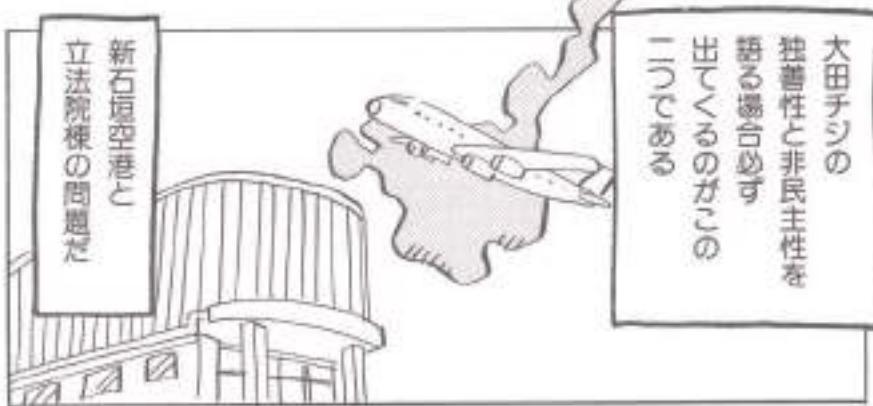
実は「J」の制度
昭和四十八年から十年間
田の政策として実施
されたことがあった





混乱の新石垣空港問題

大田チジの
独善性と非民主性を
語る場合必ず
出てくるのがこの
一つである



どおのの問題も
大田チジのツルの一聲で
大きな島岳に陥れた

新石垣空港は
前県政が十年以上も
かけてやがて着工まで
こぎつけていた



ところが
大田知事に
政権交代
したとたん：



たいした根拠は
なかつた
ただ前県政の方針を
引き継ぐのがイヤ
だつたのだ

カラ岳案は
ダメだ
宮良牧中に
しよう！

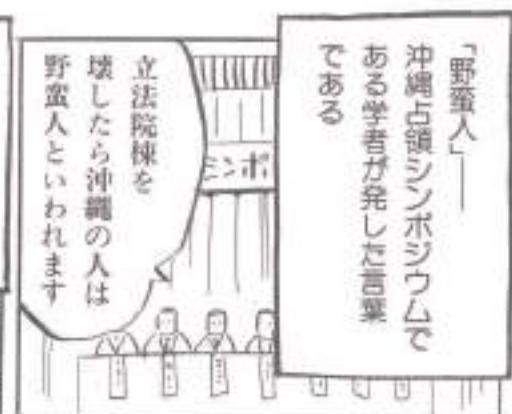


昨年八月
大田チジは石垣に
やつてきたが
住民らの抵抗で
石垣空港に
九時間も足止めされ
そのまま那覇に
引き返したのだつた

しかし
大多数の地元
住民たちも
カラ岳案に
賛成ですよ
今日の少数は
明日の多数に
なるかもしれません

一方

立法院棟は
その長い役目を終え
とり壊されることがなつた



スッポカした国際交流

去年の一月
大田チジは
華南経済園視察
ということで東南
アジアの国々を
訪ねた

その視察の帰途
台湾に寄つて
政府経済関係者と
会合する予定
だつた



同じような「り」が
その前年にも
あつた



松山の土地問題



私が契約して
土地代を払っていた
ご主人の方が亡く
なりまして

その土地を
奥さんが継ぐとか
子どもさんの方が
自分が継ぐとか
家庭内でいろいろ
なことがございまして……

だから
決して公にかかわる
問題じやなくて

三〇年以上も前に
契約をした土地の
問題でございますので
正式に弁護士を
依頼しまして
きちっと対応して
いるところで
その中身については
コメントを控えたい
と思います

しかし
これは全て
真っ赤なウソ
大田チジの
つくり話だった
のだ!!

なんだか
よくわからんが
家庭内のトラブルに
巻き込まれた
わけか……?

ほとんどの
譲賣はそう
思つたに違い
ない

なーんか

主人が
死んだとは
とんでもない
大分よくなつて
元氣です!

譲会は
大田チジの
ワリ吾井を
めぐつて
空転

入院中ですが
大分よくなつて

この個人の尊厳を
屁とも思わない
独善的な神経グ

自分の立場を
有利にするためなら
生きている人を
死んだ」という



女性地主と
その家族の深い傷は
癒えることはない

大田チジの顔は
一度と見たくない
あんな人が知事
とは信じられない

どうか裁判
だけは……

結局
大田チジは
譲会で詫び

地主側へ
泣きついて
和解に持ち
込んだ

大田ナジは沖縄のハジ



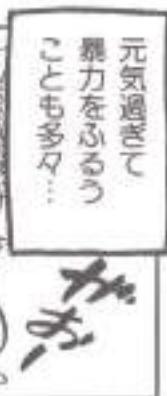
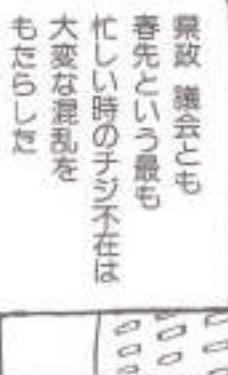
知事は人間
失格であり
ぼくは腹の底から
軽べつする！



大田チジをめぐる

あせられた話は

まだまだ続く



八代橋家吉宗より革場の乳から岐んでいるでしょう。



未来はぼくらの手に

今、ぼくらは

大田昌秀という

人間の正体を知った。

大田昌秀にぼくらの未来を

託すわけにはいかない

ことは明らかだ。

ぼくらには自分の未来を

選ぶ権利がある。

自らの意志で知事を

選ぶことも、除くことも

できる力がある。

大田を認めるや否や、

選ぶや否や、全て

ぼくらの手の中にある。

ドキュメンタリー作家

上原正穂



この漫画は、「大田沖縄 知事の背信行為——新聞記者が明かす知事の虚像と実像——」新里英之著、株ブレス沖縄刊などを参考にしています。今回、この漫画を読んで、大田知事についてもっと詳しく知りたいと思った方は、ぜひ、ご一読を。

きっと、君の眼からウロコが落ちて、新しい世界が見え、勇気が湧いてくるでしょう。



監修 上原 正稔